平成26年 第1回

仁木町議会定例会会議録

(3日目)

開 会 平成26年3月18日

閉 会 平成26年3月18日

仁 木 町 議 会

平成26年第1回仁木町議会定例会(3日目)議事日程

◆日 時 平成26年3月18日(火曜日)午前9時30分 開会
◆場 所 仁木町役場 3階議場

◆議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 議会運営委員会委員長報告
日程第3 報告第1号 平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書
議案第4号 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第5号 ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について
議案第6号 平成26年度余市郡仁木町一般会計予算
議案第7号 平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算
議案第8号 平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算
議案第9号 平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算
日程第4 議案第10号 仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について
日程第5 議案第11号 仁木町社会教育委員の定数及任期に関する条例の全部を改正する条例制定について
日程第6 議案第12号 北海道市町村職員退職手当組合格約を変更するための協議について
日程第7 議案第13号 後志広域連合格約を変更するための協議について
日程第8 議案第14号 北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について
日程第9 議案第15号 仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
日程第10 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
日程第11 意見案第1号 「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書
日程第12 意見案第2号 災害時多目的船の導入を求める意見書
日程第13 意見案第3号 消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書
日程第14 意見案第4号 食の安全・安心の確立を求める意見書
日程第15 意見案第5号 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書
日程第16 意見案第6号 集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書
日程第17 意見案第7号 農地中間管理機構設置に関する意見書
日程第18 意見案第8号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
日程第19 陳情第2号 町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情
日程第20 陳情第3号 道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情
日程第21 委員会の閉会中の継続審査
日程第22 委員会の閉会中の所管事務調査

平成26年第1回仁木町議会定例会（3日目）会議録

開 会 平成26年3月18日 午前 9時30分

閉 会 平成26年3月18日 午前11時41分

 議 長 山 下 敏 二 副 議 長 横 関 一 雄

出席議員（9名）

1 番 野 崎 明 廣	2 番 住 吉 英 子	3 番 嶋 田 茂
4 番 宮 本 幹 夫	5 番 大 野 雅 義	6 番 林 正 一
7 番 上 村 智 恵 子	8 番 横 関 一 雄	9 番 山 下 敏 二

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者

町 長	佐 藤 聖 一 郎	教育委員会委員長	高 木 僚 一
副 町 長	美 濃 英 則	教 育 長	角 谷 義 幸
総 務 課 長	岩 井 秋 男	教 育 次 長	嶋 井 康 夫
財 政 課 長	岩 佐 弘 樹	農 業 委 員 会 会 長	天 野 信 文
会 計 管 理 者	鹿 内 力 三	農 業 委 員 会 事 務 局 長	(川 北 享)
企 画 課 長	鈴 木 昌 裕	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	芳 岡 廣
住 民 課 長	門 脇 吉 春	選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長	(岩 井 秋 男)
ほ け ん 課 長	泉 谷 享	監 査 委 員	中 西 勇
農 政 課 長	川 北 享		
建 設 課 長	林 典 克		

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	浜 野 崇
議 事 係 主 任	松 岡 亜 希

開 会 午前 9時30分

○議長（山下敏二）おはようございます。これから、会議を始めたいと思います。只今の出席議員は、9名です。これから、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（山下敏二）日程第1『会議録署名議員の指名』を行います。

3月10日に引き続き、1番・野崎君及び2番・住吉君を指名します。

日程第2 議会運営委員会委員長報告

○議長（山下敏二）日程第2『議会運営委員会委員長報告』を議題とします。

本件について、委員長の報告を求めます。

○議会運営委員長（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村委員長。

○議会運営委員長（上村智恵子）皆さんおはようございます。

議会運営委員会決定事項について、報告いたします。去る3月17日月曜日に議会運営委員会を開催し、今定例会の追加議案の取り扱い等議会運営に関する事項について調査いたしました。委員会決定事項。まず、はじめに追加付議事件について申し上げます。報告1件、意見書1件が追加で付議されております。

次に、議事進行について申し上げます。日程第2までは、これまでと同様に進めます。日程第3、報告、平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書については、3月10日に委員会付託された議案6件の一括報告を受けた後、いずれも即決審議でお願いいたします。日程第4から第5の条例改正、日程第6から第8の規約変更、日程第9の計画変更、日程第10の諮問、日程第11から第17の意見書については、先に決定のとおり進めます。日程第18の意見書については、即決審議でお願いいたします。提出者及び賛成者については、お手元に配布のとおりでございます。日程第19から20の陳情については、先に決定のとおり進めます。日程第21、委員会の閉会中の継続審査、日程第22、委員会の閉会中の所管事務調査については、先に決定のとおり進めます。以上で、議会運営委員会決定事項についての報告を終わります。

○議長（山下敏二）委員長の報告が終わりました。

委員長報告のとおり、議事を執り進めることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認め、そのように決定しました。

日程第3 平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書

○議長（山下敏二）日程第3、報告第1号『平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書』を議題とします。

本件について、委員長の報告を求めます。

○予算特別委員長（宮本幹夫）議長。

○議長（山下敏二）宮本委員長。

○予算特別委員長（宮本幹夫）それでは、平成26年度各会計予算特別委員会の報告書を、ご説明申し上げます。別冊議案書2の1ページでございます。別冊議案書の報告第1号、平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書。付託案件でございますが、平成26年第1回仁木町議会定例会で付託となりました議案第4号・条例の制定、議案第5号・指定管理者の指定、議案第6号から議案9号までの平成26年度一般会計予算及び3特別会計の予算でございます。付託の内容でございますが、先に説明いたしました付託案件、合計6件の可否についての審査でございます。委員会開催日は、記載のとおりでございます。委員会出席者及び委員会条例第18条の規定により出席を求めた者並びに事務局出席者は、記載のとおりでございます。次に、2ページでございます。審査の経過でございますが、第1回仁木町議会定例会において、議長を除く議員8名により構成する「平成26年度各会計予算特別委員会」が設置され、町長はじめ副町長、教育長ほか、各関係課長ら説明員の出席を求め、町長より提出のあった条例制定議案、指定管理者の指定議案、一般会計及び3特別会計の予算書、予算説明資料について一括して説明を受け、議案ごとに質疑を行い、その重要性、緊急性、熟度、波及効果等を総合的に判断し、4日間にわたり審査を実施したものでございます。次に、審査の内容であります。議案第4号の『社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定』の審査では、対象施設の平成23年から24年度における使用状況について資料を求め、条例制定・改正に伴う町民負担の影響額や観光管理センター屋外駐車場の使用状況についての質疑・確認があり、各施設の使用料はそれぞれ設定が違うが、健康増進のために建設された山村開発センターが使用料を値上げすることにより、使いづらい施設になっては何もならないと過去に反対した経過があります。また、町民センターの補助金交付団体以外、次のページ、3ページでございますが、の使用者・団体は、少しでも使用料が低い施設を探している状況にある。たとえ少額であっても、社会保障のために消費税を上げるということ自体反対という反対討論がございましたが、賛成討論はございませんでした。議案第5号の『ふれあい遊トピア公園及び町民スキー場の指定管理者の指定』の審査では、指定管理者の公募方法や指定管理料の設定基準、指定管理者選考における選考総評点についての質疑・確認がございましたが、討論はございませんでした。議案第6号の『一般会計予算』の審査では、平成23年から25年度における積雪状況について資料を求め、歳出では、公有財産購入における土地の取り扱い、大江地区コミュニティセンター建設事業の防災用備蓄倉庫の計画内容、ごみ収集実績に対する処分場の状況、桜桃結実事業の概要（まめこばち増殖関連）、有害鳥獣駆除の実態と今後の対策、河川維持管理経費の事業概要、除雪対策事業における各地域の実態と対策、防災用備蓄倉庫整備事業の概要、各学校の施設維持管理状況、フッ化物洗口の推進計画、成人式の運営方針などについての質疑・確認があり、歳入では、町税の滞納繰越額収入状況、まちづくり・人づくり交付金の概要、ゴルフ場利用税交付金の算定方法などについての質疑・確認がございましたが、討論はございませんでした。議案第7号の『国民健康保険事業特別会計予算』の審査では、短期人間ドック及び特定健診の受診状況についての質疑・確認がございましたが、討論はございませんでした。続いて、議案第8号の『簡易水道事業特別会計予算』の審査では、質疑及び討論はございませんでした。議案第9号の『後期高齢者医療特別会計予算』の審査では、後期高齢者保険料の軽減についての質疑・確認がございましたが、討論はございませんでした。続いて、4ページでございます。決定事項でございます。議案第4号『社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する

等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について』は、賛成多数・起立多数により、可決すべきものとして決定いたしました。続いて、議案第5号でございますが、『ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について』は、賛成多数により、可決すべきものとして決定いたしました。議案第6号『平成26年度余市郡仁木町一般会計予算』は賛成多数により、可決すべきものとして決定いたしました。議案第7号『平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算』は、賛成多数により、可決すべきものとして決定いたしました。議案第8号『平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算』は、賛成多数により、可決すべきものとして決定いたしました。議案第9号『平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算』は、賛成多数により、可決すべきものとして決定をいたしました。本特別委員会において、以上のとおり決定いたしましたので、仁木町議会会議規則第76条の規定により報告をいたします。平成26年3月17日、仁木町議会議長 山下敏二様。平成26年度各会計予算特別委員会委員長 宮本幹夫です。以上で、報告を終わります。

○議長（山下敏二）委員長の報告が終わりました。

これから、委員長報告に対する質疑を行います。質疑は、只今報告の付託案件を一括して行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。宮本委員長、自席へお戻りください。これより、付託案件ごとに討論・採決を行います。

それでは、議案第4号『社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について』の討論を行います。討論はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）議案第4号に対する委員長の報告は「可決」であります。したがって、可決に反対者の発言を許します。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）7番、上村。議案第4号について、反対討論します。消費税法第60条第6項は、自治体が一般会計に係る業務として行う事業については、課税標準に対する消費税額を控除することができる消費税額と同額とみなすことによって、結果的に納税額が発生しない仕組みとしています。よって、消費税増税分を住民の使用料等に安易に転嫁すべきではないと考え、反対いたします。

○議長（山下敏二）次に、「可決」に賛成者の発言を許します。

○8番（横関一雄）議長。

○議長（山下敏二）横関君。

○8番（横関一雄）議案第4号の社会保障の安定財源の確保について、賛成の意見をさせていただきます。これは我が国において民主主義の中で、やはり社会保障の足りないところを、今この消費税法の一部を改正しまして補おうとするものでありまして、これを否定するものではないというふうに私は思います。したがって、この税法については、賛成するものであります。

○議長（山下敏二）他に討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）これで、討論を終わります。

これから、議案第4号『社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について』を採決します。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長の報告は「可決」です。

本件について、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

〔「起立多数」〕

○議長（山下敏二）「起立多数」です。

したがって、議案第4号『社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について』は、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第5号『ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について』の討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第5号『ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について』を採決します。本件に対する委員長の報告は「可決」です。

お諮りします。本件について、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第5号『ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について』は、委員長報告のとおり可決されました。

続いて、議案第6号『平成26年度余市郡仁木町一般会計予算』の討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第6号『平成26年度余市郡仁木町一般会計予算』を採決します。本件に対する委員長の報告は「可決」です。

お諮りします。本件について、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第6号『平成26年度余市郡仁木町一般会計予算』は、委員長報告のとおり可決されました。

続いて、議案第7号『平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算』の討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第7号『平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算』を採決します。本件

に対する委員長の報告は「可決」です。

お諮りします。本件について、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第7号『平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算』は、委員長報告のとおり可決されました。

続いて、議案第8号『平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算』の討論を行います。討論はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第8号『平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算』を採決します。本件に対する委員長の報告は「可決」です。

お諮りします。本件について、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第8号『平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算』は、委員長報告のとおり可決されました。

続いて、議案第9号『平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算』の討論を行います。討論はありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第9号『平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算』を採決します。本件に対する委員長の報告は「可決」です。

お諮りします。本件について、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第9号『平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算』は、委員長報告のとおり可決されました。

日程第4 議案第10号

仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について

○議長（山下敏二）日程第4、議案第10号『仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、議案第10号でございます。『仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正

する条例制定について』、仁木町農業委員会委員定数条例（昭和32年仁木町条例第8号）の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、農業委員会事務局長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○農業委員会事務局長（川北 享）議長。

○議長（山下敏二）川北農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（川北 享）議案第10号『仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について』ご説明いたします。

最初に、改正の背景でございます。仁木町農業委員会委員定数条例第2項で規定されております農業協同組合、農業共済組合及び土地改良区から選任による委員につきましては、各組織から推薦された理事となっておりますが、今後広域合併等が行われた場合、本町から理事が選出されない状況も考えられますので、今年の農業委員の改選期に向け、農業委員会等に関する法律に合わせた改正及び文言の整理を行うものであります。改正の内容といたしましては、農業協同組合、農業共済組合及び土地改良区から選任による委員につきましては、各組織から推薦された理事に組合員を加えて、対象範囲を広げるものであります。それでは、新旧対照表をご覧ください。右側の表が改正前、左側が改正後となっております。最初に第1項、これは文言の整理でございますけれども、8名を8人に改めるものでございます。続きまして第2項、理事の次に又は組合員を加え、各1名を各1人に改めるものでございます。第3項は、1名を1人に改めるものでございます。附則は、施行期日の定めであり、この条例は、公布の日から施行するというものであります。以上で、説明を終わります。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。これから、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第10号『仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第10号『仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について』は、原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第11号

仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について

○議長（山下敏二）日程第5、議案第11号『仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）議案第11号でございます。『仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について』、仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和25年仁木町条例第3号）の全部を改正する条例を別紙のとおり制定する。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、嶋井教育次長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○教育次長（嶋井康夫）議長。

○議長（山下敏二）嶋井教育次長。

○教育次長（嶋井康夫）議案第11号『仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について』ご説明申し上げます。

平成25年6月14日に公布された地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、平成25年法律第44号第3次一括法の施行に伴い、社会教育法（昭和24年法律第207号）が一部改正され、平成26年4月1日から施行されます。これまでは、社会教育委員の委嘱基準について、社会教育法第15条で定められておりましたけれども、今回の改正で文部科学省令で定める基準を参酌し、市町村の条例で定めることとなりました。このため、今回の改正をするものでございます。仁木町の場合、今までの条例、現行の条例におきましては、例規集2の1181ページでございますけれども、社会教育委員の定数及び任期に関する規定だけでしたので、今回の改正で第1条として設置及び目的、第2条として委嘱の基準、第3条として定数、第4条として任期、第5条として解職の条項を整理し、全部を改正するものでございます。附則は、施行期日の定めであり、この条例は、平成26年4月1日から施行するというものであります。説明は以上であります。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第11号『仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第11号『仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について』は、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第12号

北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について

○議長（山下敏二）日程第6、議案第12号『北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、議案第12号でございます。『北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について』、地方自治法（昭和22年法律第67号）第286条第1項の規定により、関係地方公共団体と北海道市町村職員退職手当組合理約を別紙のとおり変更するための協議をすることについて、同法第290条の規定により、議会の議決を求める。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、岩井総務課長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○総務課長（岩井秋男）議長。

○議長（山下敏二）岩井総務課長。

○総務課長（岩井秋男）議案第12号『北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について』ご説明申し上げます。北海道市町村職員退職手当組合につきましては、組合を組織する市町村の職員に対する退職手当の支給に関する事務の共同処理を行うため、昭和32年に設立されております。現在18市144町村、99一部事務組合が加盟しているものであります。この度の規約変更に伴う協議につきまして、ご説明いたします。現在組合に加盟しております上川中部消防組合につきましては、上川町、当麻町、愛別町、比布町及び鷹栖町の5町で運営しておりましたが、上川町及び鷹栖町が旭川市消防本部に、当麻町、愛別町及び比布町が大雪消防組合に編入することに伴い、解散することとなり、また伊達壮瞥学校給食組合につきましては、既存の施設の老朽化に伴い、伊達市が単独で給食センターを新築し、壮瞥町が伊達市へ、その事務を委託することに伴い、解散することになりましたことから、北海道市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する必要が生じたので、地方自治法第280条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。それでは、改正規約についてご説明申し上げます。新旧対照表をご覧願います。右側が現行規約で、左側が改正案となっております。アンダーラインを引いている箇所が今回の改正箇所であります。別表の上川の項中「上川中部消防組合」を削り、胆振の項中「伊達壮瞥学校給食組合」を削るというものであります。附則は、施行期日の定めでありまして、この規約は、地方自治法第286条第1項の規定による総務大臣の許可の日から施行するというものであります。説明は以上です。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第12号『北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について』を採決し

ます。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第12号『北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について』は、原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第13号 後志広域連合規約を変更するための協議について

○議長（山下敏二）日程第7、議案第13号『後志広域連合規約を変更するための協議について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、議案第13号でございます。『後志広域連合規約を変更するための協議について』、地方自治法（昭和22年法律第67号）第291条の3第3項の規定により、関係地方公共団体と後志広域連合規約を別紙のとおり変更するための協議をすることについて、同法第291条の11の規定により、議会の議決を求める。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、泉谷ほけん課長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ほけん課長（泉谷 享）議長。

○議長（山下敏二）泉谷ほけん課長。

○ほけん課長（泉谷 享）議案第13号『後志広域連合規約を変更するための協議について』、ご説明いたします。

変更の趣旨であります。この変更は、平成26年1月23日に岩宇地区介護認定審査会共同設置規約第6条の規定に基づき、岩宇地区介護認定審査会における負担割合の変更について、協議を求められたため、岩宇地区の介護認定審査会の設置運営に要する経費の負担割合を変更するために、平成26年2月5日、後志広域連合幹事会及び平成26年2月7日後志広域連合会議の審議に基づき、規約の一部を変更するものであります。規約の変更方法は、附則第3項に規定する表の岩宇地区の項を削除することとし、削除に合わせて第3項中の文言を変更するものであります。この変更により、岩宇地区介護認定審査会の負担割合は、後志広域連合規約第19条第2項の規定による別表2(3)③に掲げる負担割合となります。附則については、施行期日の定めでございまして、この規約は北海道知事がこの規約の変更についての届け出を受理した日から施行し、この規約による変更後の附則第3項の規定は平成26年度以後の年度分の負担額について適用するというものであります。規約の変更にあたっては、地方自治法第291条の3の規定により、関係市町村の協議によりこれを定め、北海道知事への届け出が必要とされており、同じく同法第291条の11の規定により、協議については、各関係市町村の議会の議決を経なければならないことから、本町におきましても、本定例会に提案させていただいたものでございます。議案の改め文の朗読を省略させていただきまして、参考資料として添付しております。新旧対照表の1ページ目をお開き願います。表の右側が現行、左側が

改正案となっております。第3項中、下線部を次の表に掲げる負担割合によるものとするから、次の表の関係町村は同表に掲げる負担割合とするへ改めるものであります。同じく第3項表中から岩宇地区に係る関係町村名、項目、負担割合を削るものであります。以上で、説明を終わります。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）7番、上村。この岩宇地区は広域連合から外れるということなんでしょうか。この審査会だけ別にすることなのか。そここのところお願いします。

○ほけん課長（泉谷 享）議長。

○議長（山下敏二）泉谷ほけん課長。

○ほけん課長（泉谷 享）簡単に申し上げますと、条例で最初からですね、介護認定審査会の設置運営に要する経費というのは、均等割35%、高齢者人口割32.5%、介護認定審査件数割32.5%と定められているものであります。けれども、附則第3項に当分の間といたしまして、4つの地区、南後志地区、羊蹄山麓地区、岩宇地区、北後志地区でそれぞれ広域連合規約に定める率と異なる負担割合を決めていたというものでございます。こうした中、岩宇地区の審査会より、広域連合規約第9条に定める負担割合をもって平成26年度の負担割合としたいという旨の協議書が提出されました。ですから、附則第3項に掲げる表、これは当分の間の暫定の負担割合でありますけれども、その部分から岩宇地区が抜けまして、広域連合規約第19条第2項に定める、先程の負担割合、この方に移行するというものでございます。以上です。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）そのことによって、他の町村には何の影響もないということなんでしょうか。それぞれ別々にこの負担割合というのを決めているのか。もう少し詳しくわかりやすくお願いします。

○ほけん課長（泉谷 享）議長。

○議長（山下敏二）泉谷ほけん課長。

○ほけん課長（泉谷 享）別表の中でですね、4地区それぞれ負担割合を含めてございますので、この変更による負担の変更という部分は岩宇地区だけでございます。以上です。

○議長（山下敏二）よろしいですか。他に質疑ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第13号『後志広域連合規約を変更するための協議について』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第13号『後志広域連合規約を変更するための協議について』は、原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第14号

北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について

○議長（山下敏二）日程第8、議案第14号『北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、議案第14号でございます。『北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について』、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の7第2項の規定により、関係地方公共団体と北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を別紙のとおり変更するための協議をすることについて、同法第252条の7第3項により準用する同法第252条の2第3項の規定により、議会の議決を求める。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、門協住民課長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○住民課長（門協吉春）議長。

○議長（山下敏二）門協住民課長。

○住民課長（門協吉春）それでは、議案第14号『北後志地区障害程度区分認定審査会共同規約の一部を変更する規約について』ご説明申し上げます。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、これは平成17年法律123号の定める障害福祉サービス利用に係る申請があったときは、申請者の心身の状態に応じた障害程度区分を認定することとなっております。この障害程度区分については、余市町、古平町、積丹町、赤井川村及び仁木町が共同で設置した北後志地区障害程度区分審査会で審査及び判定を行っております。この障害程度区分については、法改正により、平成26年度から障害支援区分に改めることとなっており、審査会関係規則等の変更が必要となってまいります。北後志地区障害程度区分審査会共同設置規約の変更については、地方自治法252条の7第3項、これは機関等の共同設置にあたりますにより、準用する第252条の2第3項の規定、これについては協議会の設置でありますの規定により、市町村議会の議決を必要といたします。なお、障害支援区分への変更にあたり、審査委員、事務局体制及び町村負担金の変更はございません。続きまして、次ページ、新旧対照表をご覧ください。新旧対照表の右側欄にあります旧題名を北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約から、左側欄にあります北後志地区障害支援区分認定審査会共同設置規約に改めます。続いて旧欄でありますけれども、共同設置する町村の第1条、2行目のアンダーラインがあります障害程度区分認定審査会を左側の障害支援区分認定審査会に改正いたします。同じく旧欄名称の第2条にありますアンダーラインにある障害程度区分認定審査会と北後志地区障害程度区分認定審査会を左側の障害支援区分認定審査会と北後志地区障害支援区分認定審査会に改正するものであります。附則につきましては、この規則は平成26年4月1日から施行となります。以上で、説明を終わらせていただきます。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第14号『北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第14号『北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について』は、原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第15号 仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

○議長（山下敏二）日程第9、議案第15号「仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について」を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、議案第15号でございます。『仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について』、過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）第6条第7項の規定により準用する同法第6条第1項の規定により、仁木町過疎地域自立促進市町村計画の一部を別紙のとおり変更したいので、議会の議決を求める。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

なお、詳細につきましては、鈴木企画課長からご説明申し上げますので、ご審議の上、ご可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○企画課長（鈴木昌裕）議長。

○議長（山下敏二）鈴木企画課長。

○企画課長（鈴木昌裕）それでは、議案第15号『仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更につきまして』ご説明申し上げます。

現在、仁木町過疎地域自立促進市町村計画につきましては、平成22年度から平成27年度までの計画が策定され、この計画に基づきまして、各種施策が講じられているところでございます。平成22年第3回仁木町議会定例会で議決をいただきました仁木町過疎地域自立促進市町村計画につきましては、計画の一部に変更が生じたことから、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定により、準用する同法第6条第1項の規定によりまして議会の議決を求めるものでございます。2枚後の過疎地域自立促進市町村計画変更の表をお開き願います。表の左側が変更後、右側が変更前の対照表でございます。計画書の10ペー

ジに掲載されております。表の左側区分の2、交通通信体系の整備情報化及び地域間交流の事業名、(5)の電気通信施設等情報化施設、防災行政無線施設の事業内容、防災行政無線整備事業につきましては、平成26年度に整備事業を行うこととしておりますことから、右側変更前の基本計画を削るものでございます。本件につきましては、計画書本文事業名の変更でございまして、また、概算事業費の2割以上の増が伴うことから、道知事との事前協議が必要となるため、現在協議を進めているところでございます。議決後につきましては、道を通じ国へ関係書類を提出するものでございます。説明は以上でございます。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第15号『仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第15号『仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について』は、原案のとおり可決されました。

日程第10 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

○議長（山下敏二）日程第10、諮問第1号『人権擁護委員候補者の推薦について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）それでは、諮問第1号でございます。『人権擁護委員候補者の推薦について』、人権擁護委員法（昭和24年法律第139号）第3条の規定により、本町の区域に置かれている人権擁護委員 笠井八州子は、平成26年6月30日にその任期を満了するので、同法第6条第3項の規定に基づき、下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので議会の意見を求める。平成26年3月7日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。記といたしまして、余市郡仁木町東町12丁目63番地、笠井八州子。昭和15年7月18日生まれ。只今議案を朗読させていただきましたとおり、人権擁護委員を務められております笠井八州子氏が平成26年6月30日をもって任期満了となることから、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、同人を再任候補者として推薦いたしたく、議会の意見を求めるものであります。笠井八州子氏は、昭和15年7月18日生まれで現在73歳でございます。住所は仁木町東町12丁目63番地で、昭和31年3月に仁木町立仁木中学校をご卒業されております。人権擁護委員として、平成11年7月1日から勤められており平成26年6月30日をもって、5期目の任期が満了となります。これまでの主な経歴といたしましては、昭和60年1月から昭和63年1月及び平成2年1月から現在まで仁木町読書サークル兎の眼会長、平成12年4月から平成16年3

月まで、仁木町いじめ等問題対策協議会委員、平成16年4月から現在まで仁木町の子供を健やかに育てる生徒指導連絡協議会委員、平成16年10月から現在まで、仁木町情報公開審査会及び仁木町個人情報保護審査会委員、平成17年10月から現在まで、仁木町社会福祉推進委員、平成17年4月から平成20年6月まで、男女共同参画社会推進委員会副委員長、札幌人権擁護委員連合会内部組織でございます。平成18年8月から平成19年3月まで仁木町地域包括支援センター設置準備委員会委員、平成19年10月から平成20年3月まで仁木地区学級運営委員会副委員長。そして平成11年7月から現在まで人権擁護委員を5期務められています。また表彰歴としては、平成16年7月27日、北海道人権擁護委員連合会会長表彰、人権擁護委員、平成17年7月7日、札幌法務局長感謝状、人権擁護委員、平成20年6月19日、全国人権擁護委員連合会会長表彰、人権擁護委員、平成20年6月19日、法務省人権擁護局長感謝状、人権擁護委員。平成21年12月11日、札幌弁護士会表彰人権賞、人権擁護委員、平成23年10月5日、法務大臣表彰、人権擁護委員をそれぞれ受賞されております。人権擁護委員は、地域社会において人権相談、人権啓発、人権救済など人権擁護活動に積極的に従事することが求められることから、地域社会において信頼されるに足りる人権識見や中立公正さを兼ね備えていることのほか、社会貢献の精神に基づいて熱意をもって積極的かつ活発な人権擁護委員活動ができる方が望ましく、私といたしましては、再度笠井八州子氏を推薦いたしたく、議会のご意見を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

暫時休憩します。

休 憩 午前10時31分

再 開 午前11時00分

○議長（山下敏二）休憩前に引き続き、会議を開きます。只今の出席議員は、9名です。

これから、諮問第1号『人権擁護委員候補者の推薦について』の質疑を行います。質疑はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、諮問第1号『人権擁護委員候補者の推薦について』を採決します。この採決は、起立によって行います。

本件について、候補者は適任であるとして、答申することに賛成の方は、起立願います。

〔「全員起立」〕

○議長（山下敏二）「全員起立」です。

したがって、諮問第1号『人権擁護委員候補者の推薦について』は、「適任である」として答申することに決定しました。

日程第11 意見案第1号 手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第11、意見案第1号『手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書』を議題

とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）提出意見書について説明いたします。別冊議案書の8ページです。意見案第1号『「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、上村智恵子、賛成者は、住吉英子議員です。意見書の内容につきましては、9ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣です。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。上村君、自席へ戻りください。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第1号『「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第1号『「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第12 意見案第2号 災害時多目的船の導入を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第12、意見案第2号『災害時多目的船の導入を求める意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○2番（住吉英子）議長。

○議長（山下敏二）住吉君。

○2番（住吉英子）提出意見書について説明いたします。別冊議案書の10ページです。意見案第2号『災害時多目的船の導入を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、住吉英子、賛成者は、大野雅義議員です。意見書の内容につきましては、11ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣防災担当です。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。住吉君、自席へお戻りください。

これから、討論を行います。討論はありませんか。まず、原案に反対者の発言を許します。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）7番、上村。すでに防衛省で予算化されている多目的救難艦、艦船一隻508億円は、今後建造が予定されているものです。意見書は、この自衛隊艦船の建造を促進させる内容となり、反対いたします。ちなみに意見書の中で、国名が紹介されているスペインは、雇用社会保険省が所有する純粋な医療専用船とされています。軍艦ではありません。災害や海難などに対応するというのなら軍艦でない方法でこそ望ましいと考えますので、反対いたします。

○議長（山下敏二）次に、原案に賛成者の発言を許します。

○8番（横関一雄）議長。

○議長（山下敏二）横関君。

○8番（横関一雄）それでは、賛成意見を申し上げさせていただきます。これは災害ということで、戦争を目的というために作る船ではないというふうに私は思います。いつ災害が起こる時、今の本当に日本の艦船で間に合うのか、その辺が疑問だと思います。よって私は、戦争を目的とする軍艦であれば、これはわかりますけれども、国はそういうために税金を投入して作る艦船ではないと思いますので、それに対しては賛成いたします。

○議長（山下敏二）他に討論はありませんか。これで、討論を終わります。

これから、意見案第2号『災害時多目的船の導入を求める意見書』を採決します。この採決は、起立によって行います。

本件について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔「起立多数」〕

○議長（山下敏二）「起立多数」です。

したがって、意見案第2号『災害時多目的船の導入を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第13 意見案3号 消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第13、意見案第3号『消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○2番（住吉英子）議長。

○議長（山下敏二）住吉君。

○2番（住吉英子）提出意見書について説明いたします。別冊議案書の12ページです。意見案第3号『消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、住吉英子、賛成者は、大野雅義議員です。意見書の内容につきましては、13ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣です。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。住吉君、自席へお戻りください。
これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第3号『消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第3号『消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第14 意見案第4号 食の安全・安心の確立を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第14、意見案第4号『食の安全・安心の確立を求める意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○2番（住吉英子）議長。

○議長（山下敏二）住吉君。

○2番（住吉英子）提出意見書について、説明いたします。別冊議案書の14ページです。意見案第4号『食の安全・安心の確立を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、住吉英子、賛成者は、嶋田茂議員です。意見書の内容につきましては、15ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）です。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。住吉君、自席へお戻りください。
これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第4号『食の安全・安心の確立を求める意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第4号『食の安全・安心の確立を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第15 意見案第5号

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第15、意見案第5号『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○2番（住吉英子）議長。

○議長（山下敏二）住吉君。

○2番（住吉英子）提出意見書について、説明いたします。別冊議案書の16ページです。意見案第5号『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、住吉英子、賛成者は、野崎明廣議員です。意見書の内容につきましては、17ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、総務大臣、国土交通大臣です。ご可決くださいますよう、よろしく願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。住吉君、自席へお戻りください。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第5号『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第5号『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第16 意見案第6号 集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書

○議長（山下敏二）日程第16、意見案第6号『集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）提出意見書について、説明いたします。別冊議案書の18ページです。意見案第6号『集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26

年3月7日提出。提出者は私、上村智恵子、賛成者は、野崎明廣議員です。意見書の内容につきましては、19ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣です。ご可決くださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。上村君、自席へお戻りください。

これから、討論を行います。討論はありますか。

○2番（住吉英子）議長。

○議長（山下敏二）まず、原案に反対者の発言を許します。住吉君。

○2番（住吉英子）2番、住吉。意見案第6号『集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書』に対しまして、反対討論を行います。集团的自衛権については、公明党は現行憲法のもとで、我が国は集团的自衛権を保有はしていますが、行使はできないとする従来の政府解釈の立場を支持するものであり、安易、拙速な解釈の変更は認められないと考えるものであります。また現行憲法に新たな権利などを盛り込む加権の際にも、憲法第9条1項、2項を含む現行憲法の3原則の1つである平和主義、戦争放棄条項は堅持するという立場であります。したがって、集团的自衛権に関する憲法解釈の変更については、なぜ変更する必要があるのか。どこをどう変更しなければならないのか。また現行憲法の解釈として、そのような解釈が可能なのか。更にそのような変更が近隣諸国などに、どのような影響を与えるのか等を慎重に判断しなければなりません。公明党は憲法解釈の変更については、従来の基本的立場を堅持しつつ、与党間の協議、また政府と与党の協議などの場で、変更に必要な国会手続等を含め、具体的かつ慎重に課題となる点を徹底的に追求することとしています。これは議論の余地なく、いかなる変更にも反対するという姿勢とは異なる立場であり、よって意見案第6号に反対いたします。

○議長（山下敏二）次に、原案に賛成者の発言を許します。他に討論ありませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長（山下敏二）これで、討論を終わります。

これから、意見案第6号『集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書』を採決します。この採決は、起立によって行います。

本件について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[「起立多数」]

○議長（山下敏二）「起立多数」です。

したがって、意見案第6号『集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第17 意見案第7号 農地中間管理機構設置に関する意見書

○議長（山下敏二）日程第17、意見案第7号『農地中間管理機構設置に関する意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○7番（上村智恵子）議長。

○議長（山下敏二）上村君。

○7番（上村智恵子）提出意見書について説明いたします。別冊議案書の20ページです。意見案第7号『農地中間管理機構設置に関する意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月7日提出。提出者は私、上村智恵子、賛成者は、大野雅義議員です。意見書の内容につきましては、21ページに記載のとおりです。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣です。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。上村君、自席へお戻りください。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第7号『農地中間管理機構設置に関する意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第7号『農地中間管理機構設置に関する意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第18 意見案第8号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

○議長（山下敏二）日程第18、意見案第8号『ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書』を議題とします。

本件について、提出議員の説明を求めます。

○8番（横関一雄）議長。

○議長（山下敏二）横関君。

○8番（横関一雄）意見書提出について、説明いたします。別冊議案書の6ページでございます。意見案第8号『ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書』、上記意見案を別紙のとおり提出する。平成26年3月18日提出。提出者は私、横関一雄、賛成者は、林正一議員でございます。意見書の内容につきましては、7ページに記載のとおりでございます。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣でございます。ご可決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（山下敏二）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。横関君、自席へお戻りください。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、意見案第8号『ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、意見案第8号『ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書』は、原案のとおり可決されました。

日程第19 陳情第2号

町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情

○議長（山下敏二）日程第19、陳情第2号『町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情』を議題とします。

陳情の朗読を事務局長にさせます。

○議会事務局長（浜野 崇）議長。

○議長（山下敏二）浜野局長。

○議会事務局長（浜野 崇）陳情書の朗読を行います。

陳情文書表、受理年月日及び受理番号ですが、平成26年2月20日受付、陳情第2号です。所管委員会は、総務経済常任委員会です。提出者は、金光町内会 会長 鶴田寿広氏です。件名は、町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情です。

陳情趣旨を朗読いたします。陳情趣旨、原文でございます。町道3番線沿いにはJA新おたる農協集出荷場や観光農園があり、車両の通行も多い道路です。灌漑用水路の北西側（末広橋側）は5.5m幅に改修されましたが、灌漑用水路からフルーツ街道までの間は、道路幅が4mと非常に狭いままになっています。このため大型車とは交差ができず、やむを得ず近隣の方の家前私有地に車を寄せ交差しなければなりません。いま車での移動、運搬はごく当たり前の交通、輸送手段です。幸いなことにまだ大きな事故は発生していませんが、業務用の車両であれ、生活に使用される車両であれ普通に交差でき、通行できる道路でなければなりません。以上のことから、町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅改良をお願いいたします。以上です。

○議長（山下敏二）陳情の朗読が終わりました。

お諮りします。本件については、議会運営委員会委員長報告のとおり、総務経済常任委員会に付託し、閉会中の継続審査にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、陳情第2号『町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情』は、総務経済常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第20 陳情第3号

道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情

○議長（山下敏二）日程第20、陳情第3号『道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情』を議題とします。

陳情の朗読を事務局長にさせます。

○議会事務局長（浜野 崇）議長。

○議長（山下敏二）浜野局長。

○議会事務局長（浜野 崇）陳情書の朗読を行います。

陳情文書表、受理年月日及び受理番号ですが、平成26年2月21日受付、陳情第3号です。所管委員会は、総務経済常任委員会です。提出者は、銀山地区町内連合会 会長 杉本 晃氏です。件名は、道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情です。

陳情事項等について朗読いたします。陳情事項、原文でございます。道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅について。陳情理由、原文でございます。近年、全国各地で発生している異常気象による災害、原発による被災と当地域においては無縁と思われましたが、災害等発生時には当地域においても、道道仁木赤井川線避難道との連携が求められます。銀山停車場線は女代神社、願王寺へ繋がり、地域としても行事等を行う主要な幹線であり、また、銀山学園は障害者自立支援施設でもあります。デイサービスセンターえんれいそうは、仁木町に在住されている高齢者が利用する施設であり、自宅からセンターへ送迎もされております。しかし本線は地域道・施設の主要連結としては非常に狭い（4m）ため夏場においても普通車同士の交差も厳しく、サイドが河川・農業排水路となっているため、高低差が大きく防護柵もありません。冬期間は豪雪地域のため道幅はさらに狭く、交差は全くできない状況にあり、通勤・送迎事故、豪雨災害、降雪による寸断や原子力災害と予期せぬ事態に対処するため、ぜひ町道銀山停車場線の拡幅を行っていただきますようお願いいたします。このことは、銀山地区町内会並びに関係団体の強い要望でありますので、何卒ご理解のうえ、よろしくお取り計らいくださいますようお願いを申し上げます。以上です。

○議長（山下敏二）陳情の朗読が終わりました。

お諮りします。本件については、議会運営委員会委員長報告のとおり、総務経済常任委員会に付託し、閉会中の継続審査にしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、陳情第3号『道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情』は、総務経済常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第21 委員会の閉会中の継続審査

○議長（山下敏二）日程第21『委員会の閉会中の継続審査』の件を議題とします。

上村議会運営委員会委員長、林総務経済常任委員会委員長、住吉議会広報編集特別委員会委員長より、各委員会に関する事項について、仁木町議会会議規則第74条の規定により閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第22 委員会の閉会中の所管事務調査

○議長（山下敏二）日程第22、『委員会の閉会中の所管事務調査』の件を議題とします。

林総務経済常委員会委員長より、所管事務事項について、仁木町議会会議規則第74条の規定により閉会中の所管事務調査の申し出があります。

お諮りします。林総務経済常任委員会委員長からの申し出のとおり、閉会中の所管事務調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、林総務経済常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の所管事務調査とすることに決定しました。

暫時休憩します。

休 憩 午前11時35分

再 開 午前11時35分

○議長（山下敏二）休憩前に引き続き、会議を開きます。只今の出席議員は、9名です。

佐藤町長から発言の申し出がありますので、これを許します。

○町長（佐藤聖一郎）議長。

○議長（山下敏二）佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）山下議長のお取り計らいにより、発言の機会を賜り、誠にありがとうございます。平成26年第1回仁木町議会定例会の閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。議員各位には、3月7日から本日まで長期間にわたり、本定例会に提案いたしました案件につきまして、格別なご審議のもと、ご可決賜り心より感謝とお礼を申し上げます。また、議案審議の中で、あるいは一般質問におきまして、議員の皆様から賜りました多くのご意見・ご指摘等を踏まえ、今後の町政運営に誠心誠意取り組んでまいります。

さて、3月1日に行いました農業講演会では、多くの議員の皆様方にもご出席を賜り、深く感謝申し上げます。講演会の題目でもありました「農業改革元年」という言葉は、必ずしも飾り言葉ではなく、これを契機にあらゆることに挑戦する攻めの農業を展開してまいります。また、4月からは新たな体制で町政運営を行ってまいります。職員一丸となり、志一つにして邁進してまいります。予算特別委員会でも、冒頭の挨拶で触れましたが、あの東日本大震災から3年が過ぎました。震災による犠牲者は行方不明者も含め、2万人近くにもなり、今なお、約26万7000人が避難生活を強いられています。状況を考えますと、あの時のことを決して風化させず、我々国民一人一人の心に刻み、今後の日本の未来予想図を描いていかなければならないと改めて思う次第であります。

結びになりますが、いよいよ早春の候となりました。議員各位には益々ご多忙を極めると存じます。ご健勝に町政発展のために、更にご尽力賜りますよう心からご祈念申し上げますとともに、議員各位の一層

のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます、閉会のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

○議長（山下敏二）町長の挨拶が終わりました。

第1回定例会を閉会するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。今定例会には、平成25年度の補正予算をはじめ、平成26年度の当初予算、更には条例制定や指定管理者の指定など、数多くの議案を審議いただきましたが、議員各位のご精励により、無事閉会を迎えることができましたことは、議長としても、大変うれしく思うところであります。また、町長はじめ、職員の皆さんには、定例会、予算委員会での熱心な説明や答弁をいただき、感謝する次第であります。佐藤町長におかれましては、初めての予算編成ということで、何かとご苦勞されたことと推察いたしますが、当初予算は、これからの町づくりの方向性を定める基本であります。今定例会及び予算特別委員会での各議員からの質問や意見等を精査いたしまして、より一層住みよい町づくりに向けて、管理職、職員とも一丸となって邁進していただければと思う次第であります。今後益々の佐藤町政の躍進にご期待を申し上げ、第1回定例会閉会にあたっての挨拶いたします。

お諮りします。本定例会の会議に付された事件はすべて終了しました。したがって、仁木町議会会議規則第6条の規定により、閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山下敏二）「ご異議なし」と認めます。

したがって、本定例会は本日で閉会することに決定しました。これで、本日の会議を閉じます。

平成26年第1回仁木町議会定例会を閉会します。

ご審議、大変ご苦勞様でした。

閉 会 午前11時41分

以上、会議の経過は書記が記録したものであるが、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員

平成26年第1回仁木町議会定例会議決結果表

会 期 平成26年3月7日～3月18日（12日間）

3日目 平成26年3月18日（火曜日）

（開会～午前9時30分／閉会～午前11時41分）

議案番号	議 件 名	議決年月日	議決結果
報告 第1号	平成26年度各会計予算特別委員会審査報告書		
	議案第4号 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	H26. 3. 18	原案可決
	議案第5号 ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定について	H26. 3. 18	原案可決
	議案第6号 平成26年度余市郡仁木町一般会計予算	H26. 3. 18	原案可決
	議案第7号 平成26年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計予算	H26. 3. 18	原案可決
	議案第8号 平成26年度余市郡仁木町簡易水道事業特別会計予算	H26. 3. 18	原案可決
	議案第9号 平成26年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計予算	H26. 3. 18	原案可決
議案 第10号	仁木町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例制定について	H26. 3. 18	原案可決
議案 第11号	仁木町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の全部を改正する条例制定について	H26. 3. 18	原案可決
議案 第12号	北海道市町村職員退職手当組合理約を変更するための協議について	H26. 3. 18	原案可決
議案 第13号	後志広域連合理約を変更するための協議について	H26. 3. 18	原案可決
議案 第14号	北後志地区障害程度区分認定審査会共同設置規約を変更するための協議について	H26. 3. 18	原案可決
議案 第15号	仁木町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	H26. 3. 18	原案可決
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	H26. 3. 18	適任答申
意見案 第1号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第2号	災害時多目的船の導入を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決

議案番号	議 件 名	議決年月日	議決結果
意見案 第3号	消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第4号	食の安全・安心の確立を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第5号	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第6号	集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第7号	農地中間管理機構設置に関する意見書	H26. 3. 18	原案可決
意見案 第8号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	H26. 3. 18	原案可決
陳情 第2号	町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情	H26. 3. 18	委員会付託
陳情 第3号	道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情	H26. 3. 18	委員会付託